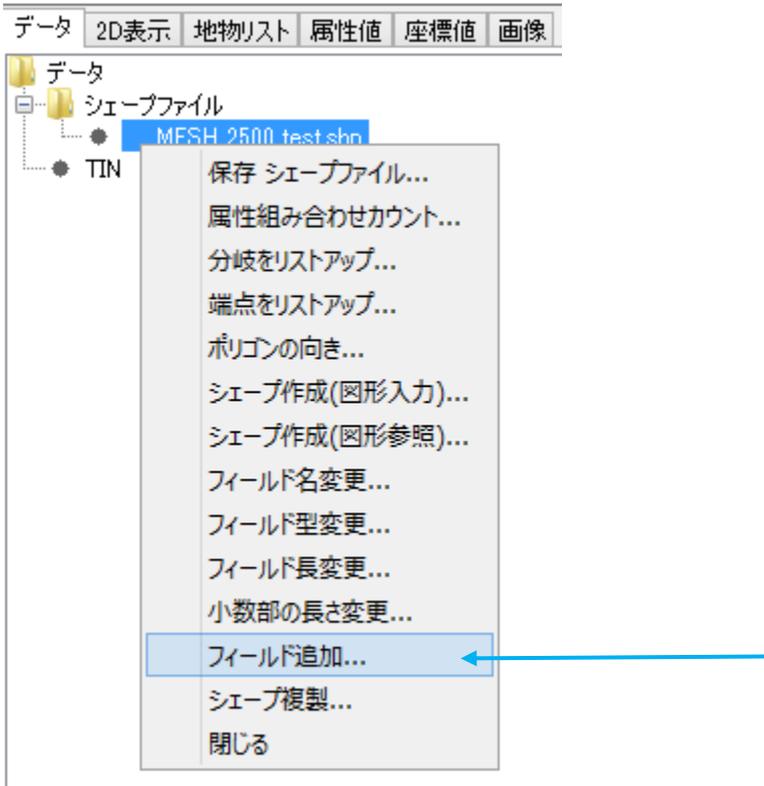
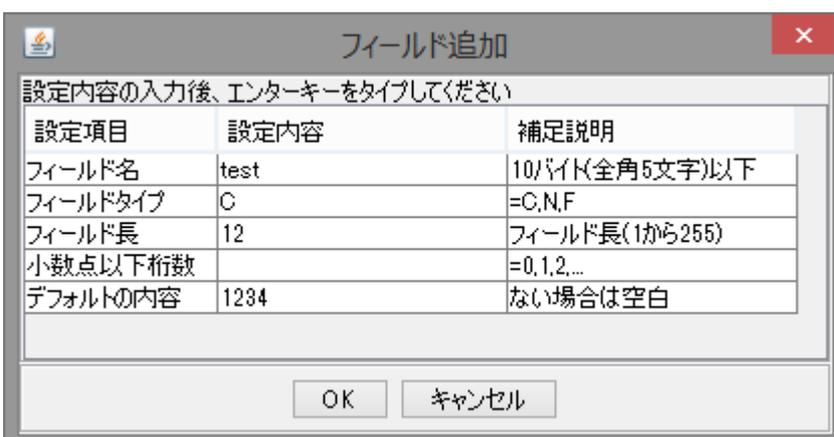


1. フィールドを追加

開いているシェープファイルについて、フィールドを追加できるようにしました。



対象のシェープファイルにフィールドを追加します。



フィールド名

アルファベットで 10 文字、全角文字なら 5 文字まで可能です。

フィールドタイプ

フィールドの内容が文字列なら「C」、数値なら「N」を指定します。

フィールド長

バイト数で1バイトから255バイトの間の整数を指定します。

小数点以下桁数

フィールドのタイプが数値の場合、小数点以下の桁数を指定します。

デフォルトの内容

デフォルトの内容がある場合、文字列で指定します。ない場合、空白にしておきます。

シェープファイルのフィールドの内容は全て文字列で記録されています。例えば、数値が123.45の場合、文字列「123.45」で記録されます。

参考資料

<http://www.esri.com/getting-started/learn-more/shapefile/>

http://www.esri.com/cgi-bin/wp/wp-content/uploads/documents/shapefile_j.pdf